

5 Apologizing

場面を見て、“I’m sorry.”と“Thank you.”のどちらを使うか、選びましょう。

1 (グラスを落として割ってしまう絵。)

A . I’m sorry.

B . Thank you.

正解：A . I’m sorry. (ごめんなさい。)

解説：うっかり失敗してしまったときは相手に謝らなければなりません。その時には

I’m sorry! (ごめんなさい!)を使います。また、申し訳ないという気持ちを強調したい場合は so, really, very, deeply などをつけて、I’m so sorry. (ほんとうにごめんなさい。)などと言うこともできます。

2 (プレゼントをもらう絵。)

A . I’m sorry.

B . Thank you.

正解：B . Thank you. (ありがとう。)

解説：プレゼントをもらったときは相手にお礼の気持ちを伝えましょう。²² Thank you, Kei. (ありがとう、圭。)のように言うこともできますし、感謝の気持ちを強調して

Thanks a lot! (どうもありがとう!) “Thank you very much!” (どうもありがとうございます。)も使えます。なお、Thanks a lot!は “Thank you very much!” よりもくだけた表現ですので、目上の人に向かってはあまり用いません。

また、日本と違って英語を使う文化では、もらったプレゼントをすぐその場で開けて感想を言うことが多いようです。その場合は、What is it? Can I open it? (何かな? あけてみても良い?) It’s really pretty. (とってもかわいい。) It’s beautiful! (きれい!) などの表現を使うことができます。

3 (待ち合わせに遅刻、相手はぶんぶんおこっている絵。)

A . I’m sorry.

B . Thank you.

正解：A . I’m sorry. (ごめんなさい。)

解説：待ち合わせに遅刻して相手を怒らせたときは謝らなければなりません。

“I’m sorry.”だけでなく、「謝罪の内容」を付け加えて謝罪することもできます。

I am so sorry (that) I am late. (遅くなってごめんなさい。)

I am sorry to have kept you waiting for half an hour.

(三十分も待たせてしまってごめんなさい。)

さらに、謝罪を受け入れて相手を許す時には次のような表現を使うことができます。

That happens.

(そういうこともあるさ。)

That's all right.

(気にしないでいいよ。)

「すみません」に関する表現

日本語の「すみません」は、謝る、お礼を言う、呼びかける、依頼するなど色々な場面で使われます。一方、英語の “I'm sorry.” は相手に謝る時だけに使う表現です。

I'm sorry (that) I'm late.

(遅くなってごめんなさい。)

軽いお礼の気持ちを伝えたい時には “Thank you.” を使います。

Thank you for helping.

(お手伝いいただきありがとうございます。)

また、人に呼びかけたり依頼したりする時には “Excuse me.” を使います。

Excuse me, can I open the window?

(すみません、窓を開けてもいいですか。)(呼びかけ)

Excuse me, but could you tell me the way to the station?

(すみませんが、駅へ行く道を教えてくださいませんか。)(依頼)